

芦屋港活性化基本計画（抜粋）

令和2年2月19日
第2回芦屋中央病院跡地検討委員会 資料③

1) 段階的整備スケジュール

芦屋港の整備にあたっては、工程表のとおり第1期から第3期まで大きく3つの段階に分けた段階的な整備を行います。

ただし、整備にあたっては社会経済環境の変化や関係者協議の進捗、財源確保などの要因から変更となる場合もあります。

	整備機能	場所	第1期				第2期				第3期		
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
1	港湾計画改定		→→→→ 関係機関協議→改定				→					→	
2	飲食・直売施設、駐車場	7号野積場		→→→→→→→→			● 開業				→	→	
3	イベント広場	6号野積場		→→→→→→→→			● 開業						
4	ポートパーク	8号・9号野積場、 水域（波除堤合）		→→→→→→→→			● 供用開始						
5	海釣り施設	東防波堤、1号野積場 遠賀川沿導流堤		→	● 一部供用開始	→						→	→
6	プロムナード	4号岸壁				→				→			
7	物流機能移転	2号・3号野積場、 1号上屋		→→→→→→→→					→→→→→→→→		→→→→→→→→		
				事業者との交渉					一部移転、レイアウト変更		物流事業者移転、野積場整備		
8	複合施設（上屋活用）、 機能移転	1号上屋ほか					→→→→→→→→→→				● 開業		
9	その他港湾機能					→							
							物流進入対策						
10	上下水道	臨港地区内		→→→→→→→→									
11	測量調査		→				→					→	

段階的な整備

- 本来の港湾機能として十分に活用されていない範囲が多くある一方で、一部は物流事業者が利用しているため、全体の施設整備には時間を要することから、段階的に整備を図ることとします。
- 施設整備にあたっては、空間の有効活用に配慮し社会経済環境の変化に対応しながら、柔軟な施設配置とし、将来案を目指すこととします。

POINT!



整備する範囲

- 遠賀漁業協同組合芦屋支所が使用している範囲を除いた全てを対象とします。



遠賀漁業協同組合芦屋支所の様子



臨港地区（港湾の範囲）と漁協エリア

事業主体

- 港湾管理者の福岡県と、芦屋町が協力して実施します。
- 整備する施設によって、実施主体は異なります。今後協議をしながら決定していくものです。
- 民間事業者の誘致などに民間活力の活用も積極的に導入します。

計画期間

- 2019年度から2028年度（10年間）
※社会経済環境の変化などに対応するため、見直しを行う場合があります。



2019年3月作成

導入する機能と施設の考え方

□ボートパーク

- ・ 利用隻数は 200 隻とします。
- ・ 静穏度確保のため 54 mの波除堤を新設します。
- ・ 利用ルール（事故防止対策）、飛砂・堆砂対策、サービス内容などは今後の検討課題とします。



イメージ（大阪市北港マリーナ）

□飲食・直売施設（平屋の複合施設）

- ・ 飲食機能はフードコート形式とし、店舗は 3 テナント、客席は最大 100 席とします。
- ・ 直売機能はフードコートに併設したコンパクトなブースとします。
- ・ 観光案内所、体験プログラム等に活用できる多目的室を設置し、施設は木造平屋建、約 760 m²とします。



イメージ（水巻町周遊拠点施設）

□海釣施設

- ・防波堤の一部に安全対策を講じ、漁協とのエリア分けの対策を講じたうえで開放します。
- ・ファミリー層や初心者を中心にターゲットとし、利用料金は徴収しません。



イメージ
(ファミリーフィッシング大会in芦屋)

□イベント広場・全天候型施設

- ・芦屋港の賑わい空間として、様々なイベントに活用でき、通常は憩いの場となる広場とします。
- ・冬季の集客力向上に繋がる施設として、イベント広場内に天候に影響されずイベントなどが実施できる、全天候型施設を整備します。
- ・全天候型施設の活用方法のひとつに「砂像」の展示を想定し、集客力の向上や経済効果に寄与するものとし、他にも一般貸し出しを積極的に行い、天候に影響されないイベント開催ができる施設として活用します。



イメージパース (イベント広場の全天候型施設)

□サイクルステーション

□アウトドア体験 (緑地帯の活用)

□ビーチスポーツ

□災害時等の緊急対応用物流機能 (未使用時は駐車場などで活用)



イメージ
(門司港サイクルステーション)



イメージ
(ビーチサッカーイベント)

□複合施設（1号上屋のリノベーション）・海辺のプロムナード

- ・現在の1号上屋を複合施設としてリノベーションします。整備や運営は民間活力の活用を検討します。また、岸壁の一部は水辺空間の魅力を高め散策できるように整備します。



イメージパース（1号上屋と海辺のプロムナード）

概算事業費

□福岡県・芦屋町・民間事業者による施設整備の総額（概算） 約 3,597,000 千円

- ・施設整備に必要な測量調査、基本設計、実施設計、工事費の合計です。現時点での概算のため、今後の計画内容や経済状況によって変更となる場合があります。
- ・整備に必要な財源は、国庫補助などを可能な限り組み合わせて最大限活用します。

集客見込み・経済効果

□集客見込み 256,895 人／年間

□経済効果額 264,830 千円／年間

* 経済効果額はポートパーク、飲食機能、直売機能、海釣施設の集客見込みに対する消費額見込み

維持管理

- ・芦屋港全体の維持管理は港湾管理者である福岡県が行います。
- ・観光・レジャーに関する施設は芦屋町が維持管理を担い、管理運営は指定管理者制度や民間活力導入により、芦屋港周辺も含めた一体管理の方向で今後詳細に検討します。
- ・管理運営主体はまちづくり会社の仕組みを検討します。